

所属・資格 総合文化研究室・准教授

申請者氏名 毒島 雄二

研究課題		Learning Management System (LMS)の効果的な利用方法と教材開発に関する研究
報告の概要	研究目的 および 研究概要	<p>「コンピュータ情報リテラシー」など本学における共通 Learning Management System として導入している Blackboard Learn R9.1 (以降, LMS とする) を利用した授業において, LMS の効果的な利用方法の模索等を行うことによって受講学生の個々の理解度の把握や成績評価基準の明確化, 学修過程及び成果の可視化等の改善を目的とする。</p> <p>特に, 現在全学生 (新入生) の必修科目としての「コンピュータ情報リテラシー」は, 大教室における一斉授業・実習形式で実施されており, 受講学生の入学以前の情報関係スキルに関する興味や経験の違いから, 理解度のばらつきがあり, 初心者にとっては難しく, 中上級者にとっては優しすぎる内容となっている。こうした現状をふまえ, LMS を活用することで, 上記の目的を達成することを企図している。</p>
	研究 の 結果	<p>「コンピュータ・情報リテラシー」では, 取り扱うべき内容や事例も広範にわたるため, また授業時間外の学修時間を確保するため, 日本データパシフィック社製情報倫理教材 INFOSS を採用し, LMS 上にオンライン教材と解答後に得点や正解の確認可能な回数無制限形式のセルフテストを用意するとともに, 各教員の課題採点の際に LMS 上に用意したルーブリックによる評価とフィードバックを徹底することにより, 採点基準の統一と明確化, さらに学修過程及び成果の可視化を実現した。</p>
	研究 の 考察 ・ 反省	<p>令和 2 年度開講の必修科目「情報リテラシー」では, 初回授業時にこれまでの自己評価ではなく, 情報関係スキルの習熟度を客観的に判定するため LMS のアセスメント機能および自動採点機能を活用し, 全体的なスキルおよび分野別の習熟度をアセスメント実施直後に把握することを可能にすると共に一定の基準に達しなかった学生に新規開講科目「アカデミック ICT 基礎」の受講を推奨することとする。</p> <p>その結果, これまでの初心者・初級者にとっては難しすぎ, 上級者には安易すぎるとの指摘を受けることもあった「情報リテラシー」の内容をより高度なものに重点を移すことが可能になることが期待され, また「アカデミック ICT 基礎」受講者のスキルの底上げを行うことで, 苦手意識を克服し, 2 学年時以降の専門分野の研究や教育を進める際に, スキルをより活用できるようになることが期待される。これらの結果については, 次年度に実証を行うこととする。</p>
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所  研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>※この欄は, 本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>公益社団法人 私立大学情報教育協会 2019 年度私情教イノベーション大会 「LMS の活用による初年次情報リテラシー教育の改善の試み」 令和元年 9 月 6 日 / アルカディア市ヶ谷 (東京, 私学会館)</p>	